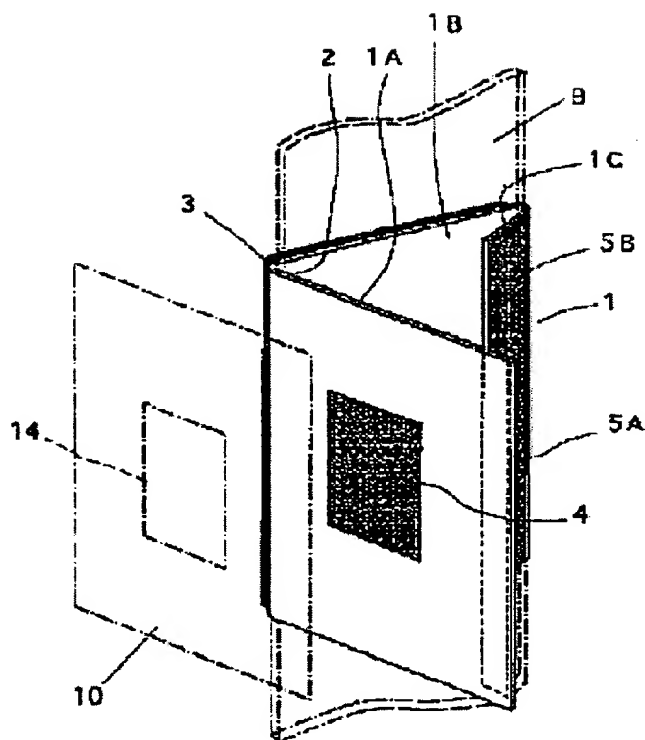


ADAPTER FOR SEAT BELT

Patent number: JP2000142313
Publication date: 2000-05-23
Inventor: ARAKAWA ZENKICHI
Applicant: EISHIN KAGAKU:KK
Classification:
- international: B60R22/12
- european:
Application number: JP19980336467 19981112
Priority number(s):

Abstract of JP2000142313

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent direct contact with a user's skin so as to improve a seat belt wearing rate by arranging a human body contact piece having a soft touch on a back face of a main body, which can be closed with a seat belt clamped from the front and back sides, and arranging an attaching member, to/from which a desired member can be freely attached/detached, on the front face.
SOLUTION: A main body 1 made of a plastic double-folded plate can be freely opened/closed while using a crease 2 as a hinge. A human body contact piece 3 made of urethane fabric having a soft touch is arranged on the back face of the main body 1. On the other hand, an attaching member 4, to/from which a desired member 10 can be attached/detached freely, is arranged on the front face of the main body 1. The attaching member 4 cooperates with an attaching member 14 for fixing the desired member 10 on the front face of the main body 1. In this process, both of the attaching members 4, 14 are formed by using velvet fasteners and constructed of male and female locking members individually. In an adapter, a seat belt B is positioned on the inside while the main body 1 is opened, and then, the adapter is closed and fixed with the seat belt clamped by the locking means (attaching members 4, 14).



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

[0010] On the other hand, an attaching member 4, which enables a desired member 10 to freely attach to and detach from the main body 1, is provided on the front face of the main body 1. The attaching member 4 can fix the desired member 10 on the front face of the main body 1 by cooperating with an attaching member 14, which is provided on the desired member 10. In Fig. 1, the attaching members 4 and 14 are formed as male and female (or female and male) locking members, respectively. As attaching means, the attaching members 4 and 14 use velvet fasteners. The attaching means are not limited thereto and may be, for example, those which use magnetic force, adhesive force, or fitting engagement.

[0011] The desired member 10 may be something which is useful when fixed on the seat belt B through the adapter of the present invention. Fig. 1 illustrates a card-shaped desired member, such as a printed picture or a photograph. In this case, for example, a favorite photograph or picture can be displayed by using a seat belt. When the adapter of the present invention is provided as a free gift, a sponsor's advertisement may be displayed on the desired member 10. Fig 3. illustrates a clip-shaped desired member. In this case, for example, tickets, prepaid cards, bills, driver's licenses, or various passes can be held at hand by using a seat belt. Fig 4. illustrates a case-shaped desired member. In this case, for example, coins, cigarettes, or cellular phones can be held at hand by using a seat belt.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-142313
(P2000-142313A)

(43)公開日 平成12年5月23日(2000.5.23)

(51)Int.Cl.⁷

B 6 0 R 22/12

識別記号

F I

B 6 0 R 22/12

テーマコード(参考)

3 D 0 1 8

審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平10-336467

(22)出願日 平成10年11月12日(1998. 11. 12)

(71)出願人 598163259

有限会社栄伸化学

静岡県小笠郡大須賀町大淵8625-12

(72)発明者 荒川 善吉

静岡県小笠郡大須賀町大淵8625-12 有限
会社栄伸化学内

(74)代理人 100081949

弁理士 神保 欣正

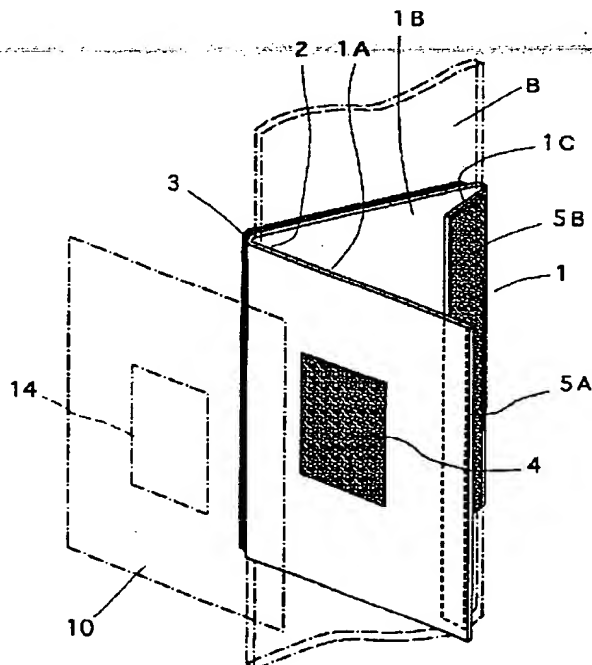
Fターム(参考) 3D018 BA06

(54)【発明の名称】 シートベルト用アダプター

(57)【要約】

【課題】 シートベルトの装着率を高めるアダプターを実現する。

【解決手段】 シートベルトBを表裏より挟持した状態で閉止可能な本体1の背面にソフトな感触を有する人体接触片3を設けると共に、本体の正面に所望部材10を着脱自在とするための着脱部材(4)を設けてシートベルト用アダプターとする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 シートベルトを表裏より挟持した状態で閉止可能な本体の背面にソフトな感触を有する人体接触片を設けると共に、本体の正面に所望部材を着脱自在とするための着脱部材を設けたことを特徴とするシートベルト用アダプター。

【請求項2】 折れ目をヒンジとして開閉自在な2つ折り板をもって本体とし、2つ折り箇所の互いに対向する面に閉止状態で係止するための雄、雌の係止部材をそれぞれ設けた請求項1記載のシートベルト用アダプター。

【請求項3】 シートベルトを表裏より挟持した状態で閉止可能な本体の背面にソフトな感触を有する人体接触片を設けると共に、本体の正面に所望の表示又は部材を設けたことを特徴とするシートベルト用アダプター。

【請求項4】 折れ目をヒンジとして開閉自在な2つ折り板をもって本体とし、2つ折り箇所の互いに対向する面に閉止状態で係止するための雄、雌の係止部材をそれぞれ設けた請求項3記載のシートベルト用アダプター。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は例えば自動車等の乗物のシートベルトに使用するアダプターに関する。

【0002】

【従来の技術】衝突時の安全の確保のために自動車のドライバーや同乗者に対しシートベルトの装着が義務付けられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】シートベルトは装着者の体をシートに拘束する機能を果たすが、拘束感を嫌って着用しない者も多数存在し社会問題化している。又、拘束感とはかきとして、肌の露出部分が多い服装の女性にとってはシートベルトが肩等の肌に直接触れて違和感や肌荒れ等を生じ、やはり装着が敬遠されがちだった。

【0004】

【課題を解決するための手段】この発明は以上の従来のシートベルト着用の問題点を鑑みて創作されたものであり、シートベルトの装着感を向上させると共に積極的にシートベルトを装着する動機付きとして機能するアダプターを提供することを目的とする。

【0005】即ち、この発明の第1発明のアダプターはシートベルトを表裏より挟持した状態で閉止可能な本体の背面にソフトな感触を有する人体接触片を設けると共に、本体の正面に所望部材を着脱自在とするための着脱部材を設けたことを特徴とする。

【0006】又、第2発明のアダプターはシートベルトを表裏より挟持した状態で閉止可能な本体の背面にソフトな感触を有する人体接触片を設けると共に、本体の正面に所望の表示又は部材を設けたことを特徴とする。

【0007】

【発明の実施の形態】図1及び図2は第1発明のアダプ

ターの解放状態の斜視図である。図中符号1はアダプターの本体、同じくBはシートベルトを指す。

【0008】本体1はシートベルトBを表裏より挟持した状態で閉止可能な構成とすることが要件であり、ここでは折れ目2をヒンジとして開閉自在なプラスチック製の2つ折り板をもって本体としている。但し、本体1の構成はこれに限られるものでなく、例えばシートベルトBを表裏より挟持して閉止可能な一對の別体の板から構成してもよく、又、素材も剛性を比較的有するものであれば、プラスチックでなく皮革や布地、或いはそれ以外のものでもよい。この本体1の2つ折り箇所1A、1Bの互いに対向する面には閉止状態で係止するための雄、雌（又は雌、雄）の係止部材5A、5Bがそれぞれ設けられるが、ここでは一方の2つ折り箇所1Bの端部を折り返し部1Cとし、この折り返し面に一方の係止部材5Bを設けている。尚、係止部材1A、1Bとしてここではベルベットファスナーを採用しているが、これ以外のものであってもよいことは勿論である。

【0009】以上の本体1の背面にはソフトな感触を有する人体接触片3が設けられるものであり、ここでは人体接触片としてウレタン系の布地を採用しているが、ソフトな感触を有するものであればこれに限られないことはいうまでもない。尚、ここに「ソフトな感触」とは、少なくともシートベルトの感触よりソフトであることが必要となる。

【0010】一方、本体1の正面には所望部材10を着脱自在とするための着脱部材4が設けられる。この着脱部材4は所望部材10に設けられた着脱部材14と共働して所望部材10を本体1の正面に固定する機能を有するものであり、ここでは着脱部材4及び14を雄、雌（又は雌、雄）の係止部材として構成し、ベルベットファスナーを採用している。尚、着脱手段はこれに限られず、例えば磁力によるもの、粘着力によるもの、嵌合によるもの等であってもよい。

【0011】所望部材10としてはこの発明のアダプターを介してシートベルトBに固定されると有用なものを想定しており、図1においては絵等の印刷物や写真等のカード状のものを例示している。この場合は、シートベルトを利用して例えば好みの写真や絵等を飾ることが可能となる。又、この発明のアダプターを景品として頒布する場合にはスポンサーの広告等を表示してもよい。図3においてはクリップ状のものを例示している。この場合は、シートベルトを利用して例えば通行券やプリペイドカードや紙幣、或いは免許証や各種のパス券等を手近な場所に保持することが可能となる。図4においてはケース状のものを例示している。この場合は、シートベルトを利用して例えば小銭や煙草、或いは携帯電話等を手近な場所に保持することが可能となる。

【0012】以上のアダプターは本体1を解放した状態で解放部から内部にシートベルトBを位置させ、その後

係止部材を利用してシートベルトを挟持した状態で閉止固定することにより、シートベルトに固定される。この場合、閉止による挟持力を外力によりアダプターがシートベルト上を摺動する程度に設定することにより、シートベルトの任意位置にアダプターを移動させることを可能とする。

【0013】図5は第2発明のアダプターの解放状態の斜視図である。第2発明においては第1発明において本体の正面に所望部材を着脱自在とするための着脱部材を設けていたことに代えて、本体の正面に所望部材又は表示を直接設けたことを特徴とする。図中符号20は所望部材の例示としてクリップ状のものを例示しているが、所望部材は前記第1発明の場合と同様にこれに限られるものではないことは勿論である。又、表示としては前記第1発明の場合のカード状の所望部材に表示されるものが想定されるものであり、例えばこの発明のアダプターを景品として頒布する場合にはスポンサーの広告等を表示してもよいことは勿論である。尚、第2発明のその他の構成は符号も含めて前記第1発明の場合と共通するのでその説明は省略する。

【0014】

【発明の効果】以上の構成よりなるこの発明のアダプターは、背面に設けた人体接触片によりシートベルトが装着者の肌に直接に接触することを防止する作用を生じると共に、正面に設けた着脱部材により手近なところにあると便利なものをシートベルトを利用して固定することが可能となる複合的な作用を生じる。この場合、通常はアダプターを装着者の肌が露出する肩等に位置させておき、固定した所望部材を利用する際に必要に応じ胸元等の使いやすい位置に摺動させることとなる。

【0015】よって、この発明のアダプターは次の特有の効果を奏することとなる。

①人体接触片によりシートベルトが装着者の肌に直接に

接触することを防止するので、シートベルトが肩等の肌に直接触れることを嫌って装着を敬遠していた者のシートベルト装着率が高まる。

【0016】②運転中に手近にあると便利なものを、シートベルトを利用して固定できるので、これを動機付けとしてシートベルト装着率が高まる。

【0017】③気に入った写真や絵をシートベルトを利用して固定できるので、これを動機付けとしてシートベルト装着率が高まる。

【0018】④今までグローブボックス、コンソール、セントアレイ等に収容されていたために、運転中の取り出しが困難であり事故の原因となった携帯電話、パス券、プリペイドカード、紙幣、通行券をシートベルトを利用して手近な場所に固定できるので事故の防止に寄与する。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1発明のアダプターのシートベルトへの取り付け過程を示す斜視図。

【図2】同上、異なる角度から観察した斜視図。

【図3】第1発明のアダプターを利用して固定される所望部材の一例を示す斜視図。

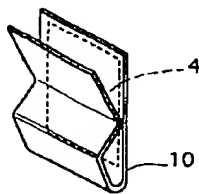
【図4】第1発明のアダプターを利用して固定される所望部材の一例を示す斜視図。

【図5】第2発明のアダプターのシートベルトへの取り付け過程を示す斜視図。

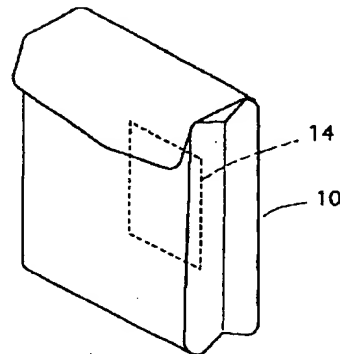
【符号の説明】

- | | |
|----|-------------|
| B | シートベルト |
| 1 | (アダプターの) 本体 |
| 3 | 人体接触片 |
| 4 | 着脱部材 |
| 10 | 所望部材 |
| 20 | 所望部材 (第2発明) |

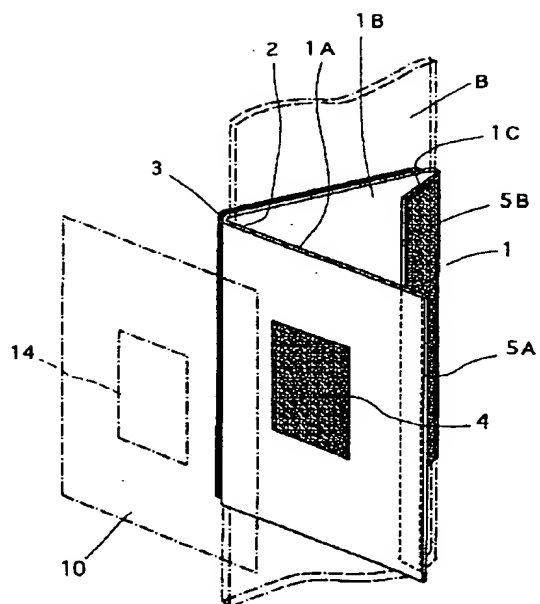
【図3】



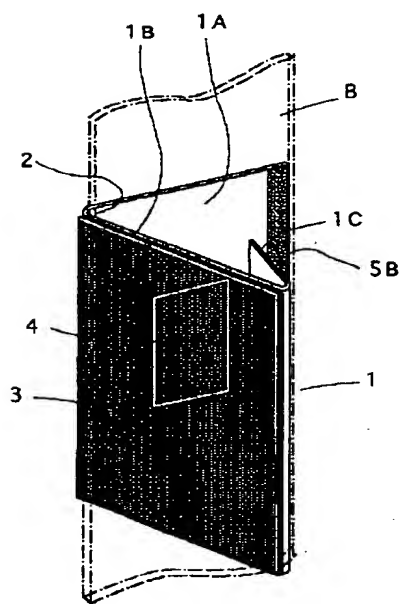
【図4】



【図1】



【図2】



【図5】

